

豊中市これからの部活動の在り方について ～部活動の地域展開～

①なぜ地域に展開するの？

●生徒数・教員数の減少

- ・少子化の影響により、今後豊中市では生徒数が減少
- ・チーム練習ができない
- ・試合に出られない
- ・廃部になる部活動が増加

●生徒の多様なニーズにこたえるため

- ・専門的な指導をうけたい
- ・やりたい部活動がない
- ・継続した部活動をしたい

●教員の負担

- ・未経験な種目でも指導する負担
- ※約半数は競技経験のない教員が顧問を引き受けている状況。（R6部活動実態調査）
- ・平日、休日の部活動による長時間勤務
- ・本来の業務を圧迫

●学校部活動の位置づけ

部活動は教員が必ずしも担う必要があるものではないという考えが国から示されており、法令上の義務はありません。学校の判断で実施しない場合もあります。

②部活動と地域活動 どこがちがうの？

	学校部活動	地域クラブ活動
参加	在籍学校の生徒（一部連携しながら活動している他学校の生徒）	学校・地域に関係なく希望する活動に参加可能
主体	学校	地域の様々な団体
指導	教員・部活動指導員等	地域・諸団体の指導者
活動場所	在籍学校	学校・学校外施設等

③子どもへのメリットは？

- 多くの選択肢の中から、自ら選んで活動ができる。
- 有資格者による専門的な指導を継続して受けることができる。
- 学校や世代を超えた仲間との豊かな交流の場となる。
- 引退、卒業後も継続して活動する機会となる。

④課題は？

- 活動場所までの移動や活動費など、家庭での負担が増える可能性がある。

部活動の地域展開とは？

中学校の教員等が「顧問」として担ってきた部活動の指導を、学校施設等を利用して地域の指導者やクラブ団体が行っていくことです。

令和7年（2025年）6月
豊中市教育委員会事務局学校教育課
06-6858-2847
豊中市都市活力部スポーツ振興課
06-6858-3092



今後、部活動を学校だけで維持することが困難
子どもたちの**活動の機会**を支えることができなくなる

子どもたちが文化・スポーツを継続的に楽しむことのできる
持続可能な活動環境の提供が必要

⑤今取り組んでいること

地域展開に向けて以下のことに取り組んでいます。

① 拠点校方式部活動の開始

令和6年度より進学した中学校に希望の部活動がない場合、近隣校の希望部活動の参加を相談できるようになりました。（詳しくは二次元コードをご参照ください。）



② 国の実証事業を活用した地域クラブの立ち上げと検証

今年度は剣道・サッカー・バスケットボール・柔道の4種目5団体で検証を行っています。



実施に向けて（予定）

- ・部活動地域展開に関する意識調査と分析
- ・児童、生徒、保護者、教職員、地域への説明
- ・地域クラブ活動団体の募集及び認定（市認定地域クラブへ）
- ・希望クラブの体験および先行実施

※部活動の地域展開について議論を始めています。
今年度中には具体的なスケジュールを決定予定です。

